

多様ながんの 分子機構に立脚した 新しい分子標的治療戦略

Novel strategies of molecular target therapies
based on diverse molecular networks in cancer

最新のがん分子標的治療の話題を、創薬、バイオマーカー探索、標的分子探索、薬剤感受性と耐性克服、合成致死などのテーマを基礎、臨床領域から多くの演題を募集して、医学、薬学の領域を越えて幅広い討論の場とし、がん患者の治療成績の向上に少しでも役立つような学術集会を目指しています。

第18回 日本がん分子標的治療学会 学術集会

The 18th Annual Meeting of
Japanese Association for Molecular Target Therapy of Cancer

会期：2014年(平成26年) 6月25日(水)～27日(金)

会場：仙台市情報・産業プラザ(AER)
ホテルメトロポリタン仙台

会長：石岡 千加史 (東北大学加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野 教授)

[演題登録期間] 2014年(平成26年) 1月8日(水)～3月12日(水)

学術集会事務局：東北大学加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野内
〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町4-1
TEL: 022-717-8543 FAX: 022-717-8548

学術集会事務局準備室：株式会社コングレ
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービルディング
TEL: 022-723-3211 FAX: 022-723-3210
jamttc2014@congre.co.jp

NPO法人東北臨床腫瘍研究会
〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町4-1
東北大学加齢医学研究所内(星陵分室)

<http://www.jamttc18.jp/>

ご挨拶



日本がん分子標的治療学会 (JAMTTC) は 1996 年 (平成 8 年) に日本がん分子標的治療研究会として設立され、2008 年 (平成 20 年) に学会に移行しました。早いもので設立後 17 年が経過し、会員数は 1,300 名を超える学会に成長しました。毎年開催される学術集会への参加者数も増加の一途をたどり、わが国に於けるがん分子標的治療の研究成果の発表と有用な情報交換の場としてその役割を果たして参りました。

この度、第 18 回日本がん分子標的治療学会学術集会 (JAMTTC 2014) を 2014 年 (平成 26 年) 6 月 25 日 (水) から 27 日 (金) の 3 日間、仙台にて開催する運びとなりました。

第 18 回学術集会 (JAMTTC 2014) では、最新の分子解析によりがんの多様性がより明確になってきた今日、

新しい治療法の開発には分子標的治療薬による治療効果の増強や耐性克服の研究が一層重要であると考えて、「多様ながんの分子機構に立脚した新しい分子標的治療戦略」 Novel strategies of molecular target therapies based on diverse molecular networks in cancer をメインテーマとしました。最新のがん分子標的治療の話題を、創薬、バイオマーカー探索、標的分子探索、薬剤感受性と耐性克服、合成致死などのテーマを基礎、臨床領域から多くの演題を募集して、医学、薬学の領域を越えて幅広い討論の場とし、がん患者の治療成績の向上に少しでも役立つような学術集会を目指しています。

今後、プログラムの詳細内容は随時更新し、準備を進めてまいります。2014 年 (平成 26 年) 6 月、参加者の研究成果を広く発信できる場として、また、最新のがん分子標的治療研究の情報を入手できる場として、皆様を仙台にお迎えすることを事務局一同心よりお待ち申し上げます。

会 長：石岡千加史 (東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野教授)

